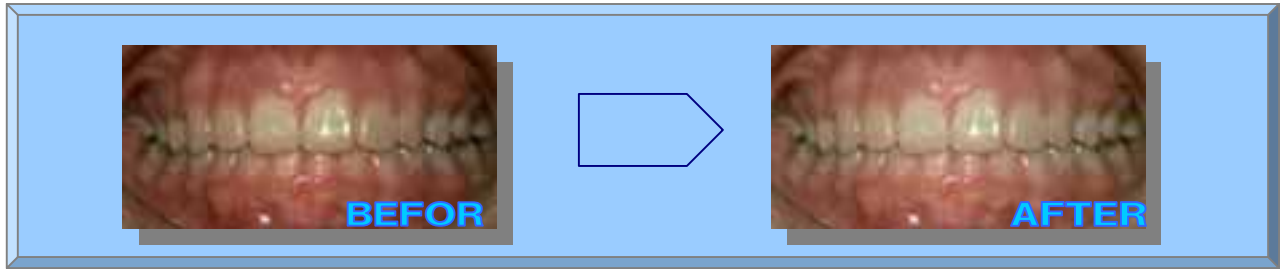





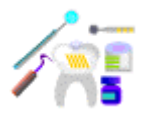
GUM WHITENING—歯ぐきの漂白—

歯ぐきの黒ずみの原因は、メラニン色素が表面粘膜に沈着し起こる症状



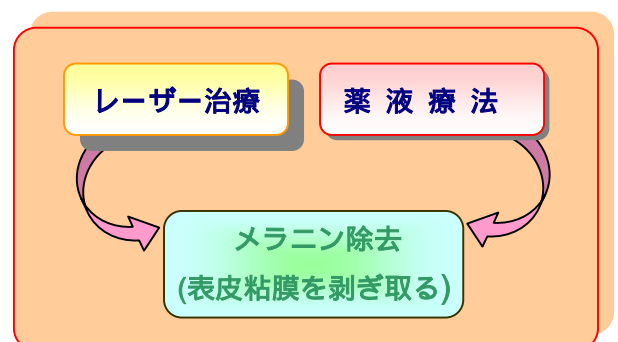
【歯ぐきの黒ずみの原因と自己力での改善】

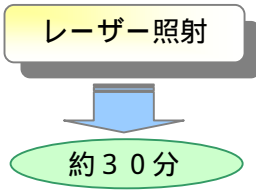
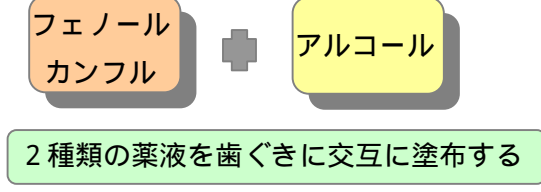
歯ぐきのメラニン色素沈着は、内的・外的刺激が加わることにより起こる症状のため、刺激因子(原因)を除去すると症状は改善します。下記の改善法を実践しても効果が得られない場合は、歯ぐきのホワイトニングが有効です。

原因	特徴と改善法
タバコ 喫煙により一時的な血管収縮が起こる。 歯肉表面にヤニが付着する 	禁煙もしくは、喫煙量をコントロールする。 定期的な着色除去(クリーニング)
歯ブラシの強い摩擦 ごしごし磨きや、硬い歯ブラシの使用。 	ブラッシング時、余分な力が加わらないよう、正しいブラッシング法の習得。毛の柔らかめの歯ブラシを使用する。
口呼吸 口中が乾き、細菌や微生物が付着しやすく炎症を起こしやすい	日頃から注意して鼻呼吸を習慣づける、鼻炎など鼻の病気のある人は、この治療を受ける。
金属 金属を使用したかぶせなどにより、歯ぐきが金属にイオン反応し色素沈着がおきる	金属使用のかぶせなどを除去し、金属を使わないオールセラミックなどの修復物に変える。 
歯周病 歯ぐきの炎症による、歯ぐきの貧血・うっ血によるもの	歯周病の治療、プラークコントロールの強化 歯ぐきのマッサージなどで炎症を抑える 
先天性メラニン体質と薬の作用による 生まれつき歯ぐきにメラニン色素を持っている	他の原因で起こる歯ぐきの黒ずみとは違い、歯ぐきの奥からメラニン色素が沈着するため、改善法も無くホワイトニングに効果は期待できない。

【歯ぐきのホワイトニング方法と比較】

歯ぐきのホワイトニングとは、いわゆる歯ぐきのピーリング。表面の粘膜(皮膚)を一層剥ぐとともに、歯ぐきの表面にあるメラニン色素を除去する方法です。この治療法には『レーザー治療法』と『薬液療法』の2つの方法があり、下表で比較しています。



	レーザー治療法	薬液療法
治療回数	1回～3回	1回～3回
治療時間	約1時間	約10～15分/回
費用	自費治療(クリニックによる)	自費治療(クリニックによる)
麻酔	表面麻酔(塗麻酔)	表面麻酔(塗麻酔)
特徴	広範囲のメラニン沈着には不向き	広範囲のメラニン沈着に対応
治療方法		
治療後経過	<ul style="list-style-type: none"> ● 治療直後・・・ヒリヒリとした痛みがあり、食事がしみる ● 2～3日後・・・歯ぐきの表面が白っぽくなり徐々に剥がれ落ちてくる ● 1週間～10日後・・・綺麗な歯肉の色になる 	
後戻り	日頃からの口のお手入れの状態にもよるが、半年から数年	

【歯ぐきのホワイトニングの限界】

- 先天性メラニン体質
- 薬の作用による色素沈着

歯ぐきの粘膜内部から症状のあるメラニン沈着は改善の期待ができない……

